

令和 6 年度

板橋区立板橋第五中学校

8 年学習の手引き

(各教科の指導内容および評価規準)

国語	P	1
社会	P	4
数学	P	6
理科	P	8
音楽	P	10
美術	P	12
保健体育	P	14
技術科	P	17
家庭科	P	20
英語	P	22

【観点別学習状況の評価と評定の評価基準】

観点別 評価	A	「十分に満足できる」状況と判断されるもの(80%以上)
	B	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上)
	C	「努力を要する」状況と判断されるもの(50%未満)

評定	5	「十分に満足できる状況であるもののうち、特に程度の高い」状況と判断されるもの(90%以上)
	4	「十分満足できる」状況と判断されるもの(80%以上90%未満)
	3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上80%未満)
	2	「努力を要する」状況と判断されるもの(20%以上50%未満)
	1	「一層努力を要する」状況と判断されるもの(20%未満)

国語科

教科目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
学年目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

単元	項目	評価の主な観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 豊かに想像する	<p>「名づけられた葉」「セミロングホームルーム」</p> <p>○言葉発見① 敬語の意味と種類</p> <p>○グループディスカッション</p> <p>○漢字を身につけよう①</p> <p>◆書写： 点画の省略</p>	<p>○敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。</p> <p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>○第1学年までに学習した漢字を、表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>○漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して欠いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、登場人物の設定の仕方などを捉えている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考え方を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</p>	<p>○進んで学習内容を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p> <p>○積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。</p> <p>○漢字の行書の書き方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。</p>
2 わかりやすく伝える	<p>「じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか」</p> <p>「人間は他の星に住むことができるのか」</p> <p>○手紙・メール</p> <p>○言葉発見② 言葉の働きとコミュニケーション</p> <p>○漢字を身につけよう②</p> <p>◆書写： 筆順の変化</p>	<p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>○言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。</p> <p>○第1学年までに学習した漢字を、表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>○漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</p> <p>○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて文章を整えている。</p>	<p>○進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。</p> <p>○表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。</p> <p>○漢字の行書の書き方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。</p>
3 ものの見方・感性を養う	<p>「短歌の世界/短歌十首」</p> <p>○短歌・俳句</p> <p>○文法の窓1 用言の活用</p> <p>「壁に残された伝</p>	<p>○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義語的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手</p>	<p>○進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>○文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。</p>

	<p>言」 ○私の読書体験 ○漢字を身につけよう③</p> <p>◆書写： 行書の練習2</p>	<p>○単語の活用について理解している。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文 文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方(点画の省略・筆順の変化)を理解しておく。</p>	<p>からの助言などを踏まえ、自分の文 章のよい点や改善点を見いだして いる。 ○「読むこと」において、文章を 読んで理解したことや考えたこと 知識や経験と結びつけ、自分の考 えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>○進んで単語の活用について理解 し、学習したことを生かして課題に 取り組もうとしている。 ○進んで自分の考えを広げたり深 めたりし、学習したことを生かして 本や新聞、インターネットなどから 集めた情報を活用しようとしてい る。 ○漢字の行書の書き方を理解し、学 習の見通しをもって文字を書こう としている。</p>
4 論理的に考 える	<p>「100年後の水を 守る」 ○言葉発見③ 上位 語・下位語 ○プレゼンテー ション ○漢字を身につけ よう ◆書写：行書と仮名 の調和</p>	<p>○情報と情報との関係のさまざま な表し方を理解して使っている。 ○抽象的な概念を表す語句の量を 増し、語感を磨き語彙を豊かにして いる。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配当 表に示されている漢字を書き、文 文章の中で使っている。 ○漢字の行書に調和した仮名の書 き方を理解して書いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章と図 表などを結びつけ、その関係をふま えて内容を理解している。 ○「話すこと・聞くこと」において、 資料や機器を用いるなどして、自分 の考えがわかりやすく伝わるよう に表現を工夫している。</p>	<p>○進んで文章と図表などを結びつ けて内容を解釈し、学習課題にそ って考えたことを文章にまとめよう としている。 ○積極的に資料や機器を用い、学習 の見通しをもって説明や提案をし ようとしている。 ○進んで漢字の行書に調和したか なの書き方を理解し、学習の見通し をもって文字を書こうとしている。</p>
5 古典に学ぶ ㊦	<p>「枕草子・徒然草」 ○表現プラザ 「平家物語」 「漢詩の世界」 ○漢字のしくみ1 ○漢字を身につけ よう⑤ ◆書写：行書に調和 する仮名</p>	<p>○作品の特徴を生かして朗読する などして、古典の世界に親しんでい る。 ○現代語訳や語注などを手がかり に作品を読むことをとおして、古典 に表れたものの見方や考え方を知 っている。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配当 表に示されている漢字を書き、文 文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方と、漢字に調 和した仮名の書き方を理解して書 いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を 読んで理解したことや考えたこと 知識や経験と結びつけ、自分の考 えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、目的や意 図に応じて、日常生活や社会生活の 中から題材を決めている。 ○「読むこと」において、観点を明 確にして文章を比較するなどし、文 章の構成や論理の展開、表現の効果 について考えている。</p>	<p>○進んで理解したことや考えたこ とを知識や経験と結びつけ、学習課 題にそって考えを伝え合おうとし ている。 ○進んで文章の構成や表現の効果 について考え、学習課題にそって考 えたことを伝え合っている。 ○進んで常用漢字を読み、学年別漢 字配当表に示されている漢字を書 き、使い、学習したことを生かして 課題に取り組もうとしている。 ○進んで漢字の行書の書き方と漢 字に調和した仮名の書き方を理解 し、学習の見通しをもって文字を書 こうとしている。</p>
6 情報を関係 づける	<p>○複数の情報を関 連づけて考えをま とめる ○投稿文 ○文法の窓2 助 詞・助動詞のはたら き ○漢字を身につけ よう⑥ ◆書写：行書と仮名 のまとめ</p>	<p>○意見と根拠、具体と抽象など情報 と情報との関係について理解して いる。 ○助詞や助動詞などのはたらき、文 の成分の順序や照応など文の構成 について理解するとともに、話や文 章の構成や展開について理解を深 めている。 ○第1学年までに学習した漢字を 読んでいる。また、学年別漢字配当 表に示されている漢字を書き、文 文章の中で使っている。 ○漢字の行書の書き方と、漢字に調 和したかなの書き方を理解して書 いている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、 互いの立場や考えを尊重しながら 話し合い、結論を導くために考えを まとめている。 ○「読むこと」において、目的に応 じて複数の情報を整理しながら適 切な情報を得て、内容を解釈してい る。 ○「書くこと」において、多様な方 法で集めた材料を整理し、伝えたい ことを明確にしている。</p>	<p>○積極的に情報と情報の関係に注 意して内容を解釈し、学習の見通し をもって話し合い、考えをまとめよ うとしている。 ○進んで助詞や助動詞などのはた らきや文の構成について理解し、学 習したことを生かして課題に取り 組もうとしている。 ○進んで漢字の行書の書き方と漢 字に調和したかなの書き方を理解 し、学習の見通しをもって文字を書</p>

				こうとしている。
7 読みを深め 合う	「大阿蘇」 ○言葉発見④ 類義語・対義語・多義語 「小さな手袋」 ○読書活動 ○創作文 ○漢字を身につけよう⑦ ◆書写：楷書と行書の使い分け	○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○第 1 学年までに学習した漢字を讀んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。	○「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を理解している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	○表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。 ○進んで楷書または行書を選び、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
8 視野を広げる	「動物園でできること」 ○漢字のしくみ2 】 ○論説文：構成を工夫して考えを伝える ○漢字を身につけよう⑧ ◆書写：季節のしおり2	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○第 1 学年までに学習した漢字を讀んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで常用漢字を讀み、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。
9 振り返って見つける	「走れメロス」 ○漢字を身につけよう⑨ ○情報誌：地域の魅力を振り返って ◆書写：季節のしおり2	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○第 1 学年までに学習した漢字を讀んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えようとしている。	○進んで登場人物の表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○積極的に伝え合う内容を検討し、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ○積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト(暗唱テストを含む) ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題に関する提出物(電子を含む) ・発表の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・課題解決に向けて取り組む姿勢 ・発表の内容

社会科

教科目標	(地理) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(歴史) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(公民) 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

単元	項目	評価の観点基準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の確立と鎖国 経済の成長と幕政の改革 	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新田開発や農林水産業が盛んになった背景には、生活の向上を願う人々の工夫や努力があったことを資料から読み取り、指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の方法を学ぼう 日本の特色と地域区分 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてさまざまな地域区分ができることを理解し、それぞれの地域の特色について読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本のさまざまな地域区分図を、共通点や関連性などに着目して多面的・多角的に考察し、それぞれの地域の特色を表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方 中国・四国地方 近畿地方 	<ul style="list-style-type: none"> 地方の位置と自然環境の特色について、地図・グラフなどから読み取る技能を身に付け、構成する県の位置や名称を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図・グラフなどの資料から、工業地帯についての地域的特色や全国に占める割合の変化を読み取る技能を身に付け、工業地帯における工業の特色や課題、その歴史的な変化を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の近代化と国際社会	<ul style="list-style-type: none"> 近代世界の確立とアジア 開国と幕府政治の終わり 明治維新と立件国家への歩み 激動する東アジアと日清・日露戦争 近代の産業と文化の発展 	<ul style="list-style-type: none"> 富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方 	<ul style="list-style-type: none"> 地方の位置と自然環境の特色について、地図・グラフなどから読み取る技能を身に付け、構成する県の位置や名称を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図・グラフなどの資料から、工業地帯についての地域的特色や全国に占める割合の変化を読み取る技能を身に付け、工業地帯における工業の特色や課題、その歴史的な変化を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
地域のあり方	<ul style="list-style-type: none"> 地域の成り立ちや課題 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論し、まとめる手法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のあり方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のあり方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート（電子データ含む） レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート（電子データ含む） 振り返り 小テスト

数学科

教科目標	<p>① 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。</p> <p>② 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。</p> <p>③ 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。</p> <p>④ 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。</p>
学年目標	<p>① 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>③ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、問題解決しようとする態度を養う。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 ① 文字式を使って説明しよう [式の計算]	1 式の計算 2 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2章 ① 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	1 連立方程式とその解き方 2 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 2元1次方程式とその解の意味を理解している。 連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	1 1次関数 2 1次関数の性質と調べ方 3 2元1次方程式と1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数について理解している。 事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 2元1次方程式が関数を表す式とみることができる。 1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の必要性和意味を考えようとしている。 1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

	4.1 次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> • 1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 		
4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	1 説明の仕組み 2 平行線と角 3 合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> • 多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 • 平行線や角の性質を理解している。 • 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 • 証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 証明の必要性と意味及び証明の方法を考えようとしている。 • 平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 • 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	1 三角形 2 平行四辺形	<ul style="list-style-type: none"> • 証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 • 定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。 • 反例の意味を理解している。 • 正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 • 証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 • 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 • ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。 • 平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 • 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	1 確率 2 確率による説明	<ul style="list-style-type: none"> • 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 • 簡単な場合について確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 • 確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとしている。 • 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 • 確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7章 データを比較して判断しよう [データの比較]	1 四分位範囲と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> • 四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 • コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。 • データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 • 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> • 定期考査 • 単元別テスト • 小テスト • 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> • 定期考査 • 単元別テスト • 小テスト • 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> • 定期考査 • ふりかえり • 小テスト • ワークシート（プリント） • 行動の観察

理科

教科目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
	(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
	(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 化学変化と原子・分子	第1章 物質のなり立ち 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 生物のからだ	第1章 生物と細胞 第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき 第4章 刺激と反応	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
3 天気とその変化	第1章 気象の観測 第2章 雲のでき方と前線 第3章 大気の動きと日本の天気	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。	気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
4 電気の世界	第1章 静電気と電流 第2章 電	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案	電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもっ

	流の性質 第3章 電 流と磁界	電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。	たり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
--	-----------------------	---	--	------------------------------

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査、小テスト、レポート	定期考査、小テスト、レポート、発表の内容、ワークシート	ノート、ワークシート、レポート、振り返りテスト

音楽科

<p>教科目標</p>	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
<p>学年目標</p>	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

単元		評価の観点規準 (B 評価)		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
『浜辺の歌』	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 複合拍子の特徴を理解できる。 旋律の流れと歌詞との関わりを理解して歌唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と形式との関わりを理解し、強弱や音域に応じた発声を工夫して歌唱できる。 日本語のもつ美しさや抑揚の特徴を生かすように歌唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取り、形式を生かして表現を工夫できる。
『小フーガ短調』	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 多声音楽の特徴、フーガの構造を理解する。 パイプオルガンについて特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> フーガの構造を理解して、各パートの役割やテクスチャを意識して鑑賞できる。 楽器の規模や設置場所、使用目的等を理解して比較して鑑賞できる。 	<ul style="list-style-type: none"> パイプオルガンの音色や設置場所による違いなど、根拠をもって批評することができる。 批評した内容を文章で表現できる。
楽譜の規則	楽典	<ul style="list-style-type: none"> 下記の要素を理解する。 音符や休符の長さ 調性の特徴と構造 反復記号 ・ 楽曲構造 速度記号 ・ 表現記号 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱・器楽・創作・即興の際に、左記要素を意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した要素を、歌唱や器楽の実技に応用するよう関連づけて取り組むことができる。

和太鼓実技		<ul style="list-style-type: none"> 楽譜に記載されている通りに演奏できる。 口唱歌による言葉と音楽との関係を理解して応用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 限定された小節内を創作できる。その際、拍子、音符・休符の長さ、前後の関連を考慮して工夫して創作に活かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他生徒の演奏を参考に、自分の演奏を振り返り、姿勢を確認したり、演奏の音を聞いて改善する箇所を考えることができる。
4小節のリズムを作る	創作	<ul style="list-style-type: none"> 音価を考えて4小節の創作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 7年生で創作した経験をふまえて、より難易度の高いリズムを工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を見直して改善点を考えることができる。
混声三部合唱	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 強弱、表現記号など楽譜に記載されている内容を理解し、歌唱に応用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の意味やまとめり（フレーズ）を意識して歌唱できる。 強弱等歌唱表現を工夫できる。 曲の構造や特徴に合わせた表現 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に歌唱する。 自分の歌唱を振り返り、次の授業で改善したいことを考えることができる。

			を工夫できる。 ・全体の響きを聴き、その中にとけ合わせるように意識して歌唱できる。	・パートやクラスでの討議に積極的に参加し、自分の考えを述べたり、他生徒の意見を参考に自分の考えを再構築できる。
『交響曲第5番』	鑑賞	・古典派の特徴や時代背景等全般的特徴を理解する。 ・交響曲の構造を理解する。 ・オーケストラで使用する楽器の分類・特徴を理解する。	・使用楽器の変化、強弱等、時代の特徴を捉えて鑑賞できる。 ・ソナタ形式の特徴を理解して鑑賞できる。 ・楽器の音色の重なり等、鑑賞して感じ取ったことを文章で表現できる。	・左記要素を意識して、根拠をもって批評することができる。 ・批評した内容を文章で表現できる。
『荒城の月』	歌唱	・楽曲の時代背景や情景を理解する。 ・歌詞の意味を理解して歌唱する。	・想像した情景を表現するための歌唱方法（強弱、速度等）を考えて歌唱できる。 ・短調の響きを理解し、工夫して歌唱できる。	・情景や歌詞に応じた歌唱方法を考え、歌唱できる。
PC上での創作	創作	・PC上で、音価を理解してリズムを打ち込むことができる。	・定められたリズムにアレンジを加えられる。 ・表現したい内容に沿って音域や使用音、和音、リズム、音色、速度を工夫できる。	・常に再生と検証をくり返して、自分の作品をより良く改善しようとする。
「アイーダ」	鑑賞	・総合芸術の特徴、舞台構造、他芸術との関わりを理解できる。 ・使用楽器の特徴を理解できる。	・物語の構成を理解し、オペラによる表現を味わって鑑賞できる。 ・音楽以外の要素とオペラとの関わりを理解して鑑賞できる。	・DVD映像を見て、オペラに関わる多様な要素を感受して鑑賞し、感想や批評を文章で表現できる。
『展覧会の絵』	鑑賞	・標題音楽の特徴を理解する。	・楽曲を聴いて、曲の構造や音色、題名から想像できる情景を浮かべながら鑑賞できる。	・管弦楽に編曲された演奏を聴き、多彩な楽器の音色を感受して場面を想像し、文や絵で表現できる。
『ブルタヴァ』	鑑賞	・音楽の背景（歴史や地理）を理解して曲全体の構成を鑑賞できる。	・情景の変化による曲想の変化を感受し、情景を想像しながら鑑賞できる。 ・場面による使用楽器の違いを理解し、鑑賞できる。	・諸要素を元に感受した鑑賞内容を文章で表現できる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察 ・振り返りシート（毎時）

美術科

教科目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
学年目標	<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>

分野	題材名	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション	発想する			
デザイン	その一枚が人を動かす アイデアを伝えるには	<p>知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。ポスターの制作順序について理解している。</p> <p>技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>	<p>発 伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えて美しく印象に残るポスターなどの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 主体的に伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
工芸	空間に光を飾ろう	<p>知 光の形や色彩の変化などに着目し、空間に与える印象をとらえる。形や色彩などが感じさせる効果や、造形的な特徴などを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>	<p>発 光がつくり出す空間の美しさ、使う場面などをもとに、光の色や影の効果を考え、構想を練っている。また、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に生活を彩る美術の働きなどを基に、季節感を表す構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 光や陰の効果を生かしてデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組み、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

彫刻	心のイメージを形に	<p>知 彫刻表現について理解している。紙の特性、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。</p>	<p>発 表したいイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感情やイメージなどを形で表そうと単純化や省略、強調、形や質感、動勢などを考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを考え見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
鑑賞	デザインで人生を豊かに	<p>知 形や色彩、材料などに着目し、作者の意図やイメージを捉えることを理解している。</p>	<p>鑑 使う人の立場や使う場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。</p>	<p>態鑑 使う人の立場や社会における美術の働きなどに関心をもち、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期テスト ワークシート 作品	定期テスト ワークシート 作品	振り返り ワークシート 作品

保健体育科

教科目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
学年目標	体育分野 <ul style="list-style-type: none"> 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことに他者に伝える力を養う。 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 保健分野 <ul style="list-style-type: none"> 個人の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える能力を養う。 生涯を通して心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準 (B評価)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	・体ほぐし運動	○知識 ・身体づくり運動の意義と行い方、身体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
体育理論 ㉗	・運動やスポーツの学び方 ・運動やスポーツの安全な行い方	○知識 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。
ダンス	・現代的なリズムのダンス	○知識 ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとしたりすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
陸上競技 ㉘	・短距離・リレー ・ハードル走 ・長距離走	○知識 ・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・短距離・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・長距離走ではペースを守って走ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとしたりすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

<p>球技 ㊦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置にもどるなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
<p>水泳 ㊦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを取り、長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
<p>器械運動 ㊦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 ・跳び箱運動 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
<p>武道 ㊦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどしたり、禁止技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。

		げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。		
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害の防止 ・ 生活習慣病などの予防 ・ 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ・ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ・ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ・ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技術を身につけている。 ・ 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解している。 ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康をそこなう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 ・ 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査（知） ・ 課題レポート（知） ・ 実技試験（技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 学習カード ・ 課題レポート ・ 実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 学習カード ・ 課題レポート

技術科

教科目標	<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>①生活や社会で利用されている生物育成、エネルギー変換の基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>②生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>③よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
学年目標	<p>①生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解する。</p> <p>②電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解する。</p> <p>③情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</p> <p>④問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順を具体化する。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
C(1) エネルギー変換の技術	1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> 自然界にあるエネルギー源が変換され利用されることや、熱機関の仕組みを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災用品に込められたエネルギー変換の技術に関する工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	1-2 エネルギー資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> 自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電システムは、エネルギーの変換効率だけでなく、稼働率やコスト、環境負荷等にも配慮して設計されていることに気付くことができる。 	
	1-3 電気の利用	<ul style="list-style-type: none"> 算出した変換効率に基づき、エネルギー変換、効率及び損失の意味や省エネルギーの重要性を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発者が、製品等の目的に合わせて、機構の要素や構成を変更していることに気付くことができる。 	
	1-4 運動の利用	<ul style="list-style-type: none"> 電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき説明することができる。 電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。 電気回路を回路図を使って表すことができ、電気回路の特性や電流の流れを制御する仕組みについて説明することができる。 電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みを説明することができる。 工具等を適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる 動力を伝えるための仕組みとそれらの特徴を説明することができる。 		

		<ul style="list-style-type: none"> • 運動を変化させる技術の仕組みや、力や運動を保存し利用する技術の仕組みについて説明することができる。 • 機械部品を固定する方法や、共通部品の規格について説明することができる。 • 機械を適切に保守点検することができる。 		
C(2) エネルギー変換の技術による問題解決	2 エネルギー変換の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> • 回路図を用いて、LEDが点灯する仕組みを説明できる。 • 製作に必要な図を書き表すことができる。 • 安全で適切な製作、実装、点検及び調整ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 懐中電灯に問題点を見いだし、非常時に使用するライトに必要な機能に気付くことができる。 • 非常時に光る防災用ライトのスイッチを選択できる。 • 設計に基づく解決作業を計画できる。 • 設計や製作の過程に対する改善を考えることができる。 • 非常時に光る防災用ライトの機能を評価し、改善点を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 非常時に使用するライトに必要な機能について考えようとしている。 • 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
C(3) 社会の発展とエネルギー変換の技術	3 これからのエネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> • エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な社会を実現するために、エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や改良の方向性について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造したりしようとしている。
D(1) 情報の技術の原理・法則と仕組み	1-1 生活や社会と情報の技術 1-2 情報とコンピュータ 1-3 情報の表現と伝達 1-4 情報セキュリティと情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> • 情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 • 処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 • 処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 • 情報の表現、記録、計算についての科学的な原理・法則や情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 • 情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 • 情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。 • 情報ネットワーク上で情報を 	<ul style="list-style-type: none"> • 身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 • 進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 • 情報社会において適正に活動しようとしている。

		<p>利用する仕組みを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について説明できる。 知的財産を保護する必要性和利用方法を説明できる。 		
D(2) 双方向性のあるコンテンツ	2-1 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。 問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 教材作品 実習レポート 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 教材作品 実習レポート 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノート ワークシート（プリント） 行動の観察 振り返り

家庭科（食生活、衣生活、住生活）

教科目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
学年目標	<p>(1) 持続可能な食生活を目指して課題とその解決方法を考え、食生活を工夫できる。</p> <p>(2) 目的に応じた衣服の選択や、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を理解し、工夫することができる。</p> <p>(3) 材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、生活を豊かにするために布を用いた製作が適切にできる。また、資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫することができる。</p> <p>(4) 家族の生活と住空間との関わりや、住居の基本的な機能について理解する。家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し、工夫することができる。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私たちの食生活	持続可能な食生活を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食生活の課題について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な食生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造、実践しようとしている。
私たちの衣生活	衣服の選択と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わりについて理解している。 目的に応じた着用について理解している。 個性を生かす着用について理解している。 衣服と社会生活との関わり（和服）について理解している。 衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 既製服の表示を読み取り、適切に選択している。 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしい着方について考え、工夫している。 衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について工夫し創造し、実践しようとしている。 衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい衣生活を目指して、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、工夫し創造し、実践しようとしている。
	作って楽しい布製品	<ul style="list-style-type: none"> 製作する物に適した材料や縫い方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用 	<ul style="list-style-type: none"> 生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<p>いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
私たちの住生活	住まいの役割と安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。 ・和式の住まい方や日本各地の住まいの特徴などと住空間の関わりについて理解している。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	生活の課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業観察 ・実技テスト ・作品 ・ワークノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークノート ・授業観察 ・レポート ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業観察 ・ワークノート ・レポート

外国語（英語）科

教科目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p><聞くこと></p> <p>ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を捉えること</p> <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p> <p><読むこと></p> <p>ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p> <p><話すこと【やり取り】></p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p> <p><話すこと【発表】></p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。</p> <p><書くこと></p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p>
	<p>学年目標 8年終了時まで学習した文法や表現を習得する。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
Unit 0 My Spring Vacation ★speech One day during my spring vacation	復習 スピーチ	<p>【知識】過去形や過去進行形を用いた文、There is [are]の文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>【技能】思い出について、過去形や過去進行形、There is [are]の文を使い分けて、自分が経験したことを伝える技能を身につけている。(R・SP・W)</p>	<p>思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしている。(R・SP・W)</p>	<p>思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしようとしている。(R・SP・W)</p>
Unit 1 A Trip to Singapore	未来表現 be going to/ will SVOO SVOC	<p>【知識】be going to を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>【知識】助動詞 will を用いた文の形・</p>	<p>相手の予定を知るために、休暇の予定について書かれた文章を読んで概要を捉えている。(R)</p> <p>•これからの予測や予定、おたがいの</p>	<p>•おたがいの予定を知るために、休暇の予定について書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の週末の予定を即興で伝えたりしようとしている</p>

<p>Let's Talk 1</p> <p>Learning HOME ECONOMICS in English</p> <p>㊦</p>		<p>意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] SVOO SVOC の文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している。(W)</p> <p>[技能] be going to などの理解をもとに、予定について書かれた文章の内容を読み取ったり、自分の予定を伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 助動詞 will などの理解をもとに、これからの予測や意志を伝える対話の内容を捉えたり、自分の予測や意志を即興で伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] be going to や助動詞 will などの理解をもとに、予定や計画についての対話の内容を聞き取ったり、予定や意志、予測などを伝え合ったりする技能を身につけている。(L・SI・W)</p> <p>[技能] SVOO などの理解をもとに、観光名所を紹介する英文の内容を読み取ったり、その内容をまとめて伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] SVOC (C=名詞) などの理解をもとに、人やものの呼び名を理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 予定などを伝える表現の意味や働きを理解をもとに、近い未来の情報について話される内容を捉える技能を身につけている。(L・SP)</p>	<p>意志を伝え合うために、相手がその場で判断したことの詳細を捉えたり、簡単な語句や文を用いて自分の判断を即興で伝えたりしている。(L・R・SI)</p> <p>・観光名所の特徴を知って人に伝えることができるように、名所を紹介する文章を読んで、その概要を捉えている。(R・SP・W)</p> <p>・旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉え、感想などをまとめて書いている。(R・W)</p> <p>・夏休みの旅行計画を紹介するために、自分が立てた予定について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(SI・W)</p> <p>・ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、謝ったりしている。(WI)</p>	<p>る。(R・SP・W)</p> <p>・これからの予測やおたがいの意志を伝え合うために、相手がその場で判断したことの詳細を捉えたり、簡単な語句や文を用いて自分の判断を即興で伝えたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・おたがいの予定などを知るために、休暇や週末の予定について質問したり答えたり、自分の意志を伝えたりしようとしている。(L・SI・W)</p> <p>・観光名所の特徴を知って人に伝えることができるように、名所を紹介する英文を読んで、その概要を捉えたり伝えたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えたり、感想などをまとめて書いたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・おたがいの夏休みの旅行計画を紹介し合うために、自分が立てた予定について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(SI・W)</p> <p>・ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、謝ったりしようとしている。(SI)</p> <p>・相手に合ったおみやげを選ぶために、英語で書かれた食品表示を理解し、だれにあげたいかを考えて理由とともに発表しようとしている。(R・SI・SP)</p>
<p>Unit 2 Food Travels around the World</p> <p>Let's Talk 2</p> <p>☆リーディングテスト</p>	<p>接続詞 when/if/that/because</p> <p>May I ...?</p> <p>Could you ...?</p>	<p>[知識] 接続詞 when を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SP・W)</p> <p>[知識] 接続詞 if を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] 接続詞 that を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] 接続詞 because を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。(SI)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している。(W)</p>	<p>・どんなときに何をするかを知るために、時間の流れなどについて、話されたり書かれたりした文章の概要を捉えている。(L・R)</p> <p>・どんなときに何をするかを伝え合うために、時間の流れなどについて文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとしている。(L・R・SP・W)</p> <p>・いつするか、どうしたらするかを伝え合うために、時や条件について、簡単な語句や文を用いて、伝え合ったり書いたりしている。(SI・W)</p> <p>・いつするか、どうしたらするかを伝え合うために、時や条件について、簡単な語句や文を用いて、伝え合ったり書いたりしようとしている。(L・SI・</p>	<p>・どんなときに何をするかを伝え合うために、時間の流れなどについて文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとしている。(L・R・SP・W)</p> <p>・何かをする際の条件を伝え合うために、相手が提示する条件を理解したり、自分の条件を相手に伝えたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えたり、何かを好きな理由などを話したり書いたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・料理の歴史や変化について考えた</p>

		<p>[技能] 接続詞 when などの理解をもとに、いつ何をするかを理解したり、即興で伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SP・W)</p> <p>[技能] 接続詞 if などの理解をもとに、何かをする際の条件を理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 接続詞 when や if などの理解をもとに、ある時や条件ですることについて伝え合ったり書いたりする技能を身につけている。(L・SI・W)</p> <p>[技能] 接続詞 that などの理解をもとに、考えや事実などを理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 接続詞 because などの理解をもとに、好きなものや何かをする理由などについて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 相手にしてほしいことについて、ていねいに許可を求める表現や依頼する表現を用いて、伝えたり答えたりする技能を身につけている。(SI)</p>	<p>W)</p> <ul style="list-style-type: none"> 料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えたり、何かを好きな理由などを書いたりしている。(R・W) 料理の歴史や変化について考えたことや知っていることを伝え合うために、考えや事実などを理解したり表現したりしている。(R・SP) おすすめのレストランを紹介するために、自分の考えやおすすめの理由について、伝え合ったり書いたりしている。(SI・W) 相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしている。(SI) 	<p>ことや知っていることを伝え合うために、考えや事実などを理解したり表現したりしようとしている。(R・SP・W)</p> <ul style="list-style-type: none"> おすすめのレストランを紹介するために、自分の考えやおすすめの理由について、伝え合ったり書いたりしようとしている。(SI・W) 相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしようとしている。(SI)
<p>Unit 3 My Future Job</p> <p>Let's Read 1 History of Clocks</p> <p>☆即興スピーキングテスト</p>	<p>◆不定詞, It is …+ to</p>	<p>[知識] 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] <It is …+to> の文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している。(W)</p> <p>[技能] 不定詞(目的を表す副詞的用法)などの理解をもとに、何かをする目的について、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 感情の原因について、うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を、不定詞(原因を表す副詞的用法)などを用いて理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] おたがいの夢について、夢実現のためにしていることなどの情報を整理し、不定詞などを用いて、たずねたり答えたりする技能を身につけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 何かをする目的を理解するために、これからの社会について書かれた文章の概要を捉えている。(R) うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R) 職業についてよく知るために、仕事の内容などについて書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて情報を加えて説明したりしている。(R・W) これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、するべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて、理解したり書いたりしている。(R・W) 自分の体験を伝えるために、職業体験について、事実や意見を整理して、たずね合ったり伝えたりしている。(SI・SP・W) 留守番電話のメッセージで聞いたことについて返信するために、伝えたい内容を整理して、返信メールを書いている。(L・R・W) 情報技術の活用の仕方を考えるた 	<ul style="list-style-type: none"> 何かをする目的を理解したり伝えたりするために、動作や行為とその目的を整理し、簡単な語句や文を用いて、理解したり伝えたりしようとしている。(R・SP・W) うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。(L・R・SI・SP・W) おたがいの夢を知るために、夢実現のためにしていることなどの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。(L・SI・SP・W) 職業についてよく知るために、仕事の内容などについて書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて情報を加えて説明したりしようとしている。(R・SP・W) これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、するべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて、理解したり伝えたりしようとしている。(R・SP・W) 自分の体験を伝えるために、職業体

		<p>ている。(L・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 不定詞(形容詞的用法)などの理解をもとに、職業についての説明などで、内容を理解したり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] <It is …+to> などの理解をもとに、大切だと思うことなどについて、すべきことなどを整理し、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] Unit 3 までの学習事項を用いて、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を伝え合って整理し、未来の自分へのメッセージを書く技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを捉える技能を身につけている。(R)</p>	<p>めに、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりしている。(SI・W)</p> <p>・10年後の自分へのメッセージを伝えるために、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書いている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。(R)</p>	<p>験について、事実や意見を整理して、たずね合ったり伝えたりしようとしている。(SI・SP・W)</p> <p>・留守番電話のメッセージで聞いたことについて返信するために、伝えたい内容を整理して、返信メールを書こうとしている。(L・R・W)</p> <p>・情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりしようとしている。(SI・W)</p> <p>・10年後の自分へのメッセージを伝えるために、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書こうとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R)</p>
<p>Unit 4</p> <p>Homestay in the United States</p> <p>☆speech</p> <p>About my future dream</p>	<p>have to</p> <p>助動詞 must</p> <p>動名詞</p>	<p>[知識] have to, 助動詞 must を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・SP・W)</p> <p>[知識] 助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している。(W)</p> <p>[技能] have to などの理解をもとに、ホームステイについて、する必要がありたくないことを、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] ホームステイについて、助動詞 must などの理解をもとに、しなければならないことやしてはいけないことを理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 自分のスケジュールや学校のルールについて、する必要がありたくないことを、have to, 助動詞 must などを用いて、伝え合ったり書いたりする技能を身につけている。(L・SI・SP・W)</p>	<p>・自分のスケジュールや学校のルールについて、する必要がありたくないことを、伝え合ったり書いたりしている。(SI・W)</p> <p>・ホームステイではどのような問題があるかを知るために、事実や書き手の気持ちを整理して概要を捉えたり、アドバイスを書いたりしている。(R・W)</p> <p>・日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、事実や書き手の気持ちを整理して体験談の概要を捉えたり、解決策を考えて書いたりしている。(R・W)</p> <p>・日本に来る予定の外国人にってもらうために、日本の習慣やマナーについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしようとしている。(R・SI・W)</p> <p>・ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。(R・W)</p> <p>・電車が遅延している状況で、目的地に行くために必要な情報を、運行状況のアナウンスから聞き取っている。(L)</p>	<p>・ホームステイの際にする必要があることやないことを理解したり伝えたりするために、ホームステイについての文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・ホームステイの際にしなければならないことやしてはいけないことを、理解したり伝えたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・自分のスケジュールや学校のルールについて、する必要がありたくないことを、伝え合ったり書いたりしようとしている。(L・SI・SP・W)</p> <p>・ホームステイではどのような問題があるかを知るために、事実や書き手の気持ちを整理して概要を捉えたり、アドバイスを伝えたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、事実や書き手の気持ちを整理して体験談の概要を捉えたり、解決策を考えて伝えたりしようとしている。(R・SP・W)</p>
<p>Unit 5</p> <p>Universal Design</p>	<p>疑問詞+to</p> <p>主語+動詞+(人)</p>	<p>[知識] <疑問詞+to> を用いた文や <主語+動詞+(人)+疑問詞+to></p>	<p>・どのようにしたらよいかを知るために、使い方ややり方について書かれ</p>	<p>・どのようにしたらよいかを理解したり説明したりするために、使い方</p>

	<p>+疑問詞+to 主語+be 動詞+形容詞+that Could you tell me how to get to …? — Take …</p>	<p>の文の形・意味・用法を理解している。 (L・SI・W) [知識] 〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W) [知識] これまで学習した語彙を理解している。(W) [技能] 〈疑問詞+to〉などの理解をもとに、どのようにしたらよいかなどについて、理解したり説明したりする技能を身につけている。(R・SP・W) [技能] 〈主語+動詞+(人)+疑問詞+to〉などの理解をもとに、どのようにしたらよいかなどについて、情報を捉えたりだれかに説明したりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) [技能] 〈主語+be 動詞+形容詞+that〉などの理解をもとに、確信や喜びの気持ちを理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W) [技能] 電車の乗り換えについて、乗り物での行き方をたずねたり答えたりする技能を身につけている。(SI)</p>	<p>た文章から必要な情報を捉えている。(R) • どのようにしたらよいかを理解したりだれかに説明したりするために、使い方ややり方について、情報を捉えている。(L・R) • だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えている。(R) • 乗り物で目的地に到着できるように、行き方についてたずねたり、答えたりしている。(SI) • 待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように、留守番電話のメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取っている。(L)</p>	<p>やり方について、必要な情報を捉えたり伝えたりしようとしている。(R・SP・W) • どのようにしたらよいかを理解したりだれかに説明したりするために、使い方ややり方について、情報を捉えたり伝え合ったりしようとしている。(L・R・SI・SP・W) • どのようにしたらよいかを理解したり説明したりするために、使い方ややり方について、伝え合おうとしている。(L・SI・W) • だれもが使いやすいものについて考えるために、相手の考えや気持ちなどを読み取ったり、簡単な語句や文を用いて自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりしようとしている。(R・SP・W) • だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R・SI) • してみたいことを伝え合うために、その実現方法について整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりしようとしている。(SI・SP・W) • 乗り物で目的地に到着できるように、行き方についてたずねたり、答えたりしようとしている。(SI) • 待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように、留守番電話のメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。(L・SI)</p>
<p>Unit 6 Research Your Topic Let's talk 4 Stage Activity 2 Research and Presentation Let's Read 2 A Glass of Milk ☆即興スピーキングテスト</p>	<p>比較表現 Shall I …?</p>	<p>[知識] 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・W) [技能] Unit 6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [知識] これまで学習した語彙を理解している。(W) [技能] 比較表現などの理解をもとに、複数のものを比べて説明する技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) [技能] 比較表現 (better, best) などの理解をもとに、好きなものについて、複数のものを比べて結果を理解したり、伝え合ったりする技能を身につけている。(R・SI・SP・W) [技能] 比較表現 (as … as ~) な</p>	<p>• 複数のものを比べた結果を理解するために、事実などを整理し、情報を捉えている。(R) • 複数のものを比べた結果を理解したり伝えたりするために、自分の気持ちなどを整理し、情報を捉えたり、整理したり、伝えたりしている。(L・R・W) • 事実を伝え合うために、複数のものを比較して、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりしている。(SI) • 聞き手にわかりやすく伝えるために、図や Unit 6 までの学習事項を用いて調査し、その結果をまとめて、発表する技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p>	<p>• 複数のものを比べた結果を理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、情報を捉えたり説明したりしようとしている。(R・SP・W) • 調査の結果について理解したり伝え合ったりするために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて説明したりしようとしている。(R・SI・SP・W) • 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考えるために、発表の内容について評価する文章の概要を捉えたり、程度が同じくらいのことを説明したりしようとしている。(R・SP・W) • 買いたい物でほしいものを探ることができるよう、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようと</p>

		<p>どの理解をもとに、2つのものを比べて、程度が同じくらいであることを説明する技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。(R)</p> <p>[技能] 2つ以上のものを比べる表現の意味や働きを理解をもとに、商品についてのコマーシャルの内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SI)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地までの行き方を決めるために、複数の交通手段を比べて、意見を書いている。(W) ・買いたい物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えている。(SI) ・気持ちをこめて音読することができるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。(R) ・購入する商品を判断できるように、新商品についてのコマーシャルを聞いて、特長などの必要な情報を聞き取っている。(L) 	<p>している。(SI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表しようとしている。(L・R・SI・SP・W) ・気持ちをこめて音読することができるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。(R)
<p>Unit 7</p> <p>World Heritage Sites</p> <p>Let's Talk 5</p> <p>電話でのやり取り</p> <p>Stage Activity 3</p> <p>My Favorite Place in Our Town</p> <p>Let's Read 3</p> <p>Pictures and Our Beautiful Planet</p> <p>☆presentation</p> <p>Class Survey</p> <p>☆リーディングテスト</p> <p>☆即興スピーキングテスト</p>	<p>受動態</p>	<p>[知識] 受け身の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している。(W)</p> <p>[技能] 世界遺産などについて、事実などを整理し、受け身(平叙文)などを用いて理解したり説明したりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] あるものについて、事実などを整理し、受け身などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたり書いたりする技能を身につけている。(L・SI・W)</p> <p>[技能] 日本の世界遺産について、そこでできることなどについて、受け身(助動詞つき)などを用いて、理解したり説明したりする技能を身につけている。(R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現を用いて、電話で用件を伝えたり答えたりする技能を身につけている。(SI)</p> <p>[技能] 身のまわりのことや人について、受け身の文を用いて、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。</p> <p>[技能] イベントの情報などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、アナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SI)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産などについて理解するために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えている。(R) ・あるものを紹介するために、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(SI) ・世界遺産などについて理解したり伝え合ったりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、相手からの質問に答えたりしている。(R・SI) ・世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考えるために、そこでできることなどについて、紹介された文章の概要を捉えたり、書いたりしている。(R・W) ・行きたい世界遺産を紹介するために、どのような場所であるかの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりしている。(SI・SP・W) ・行きたい場所とその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスを聞いて、要点を捉えている。(L) ・ALTの先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(L・R・SI・SP・W) ・文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。(R) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり説明したりしようとしている。(R・SP・W) ・あるものを紹介するために、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(L・SI・W) ・世界遺産などについて理解したり伝え合ったりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(R・SI・SP・W) ・世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考えるために、そこでできることなどについて、紹介された文章の概要を捉えたり、説明したりしようとしている。(R・SI・SP・W) ・行きたい世界遺産を紹介するために、どのような場所であるかの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりしようとしている。(SI・SP・W) ・電話で待ち合わせの約束などの相談ができるように、自分の好みや要望を伝えながら、用件を伝えたり答えたりしようとしている。(SI) ・行きたい場所とその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスを聞いて、要点を捉えようとしている。(L・SI) ・ALTの先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとして

				いる。(L・R・SI・SP・W) ・文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R)
--	--	--	--	---

	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単語テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業中に制限時間内で取り組むライティング課題 ・スピーチ ・即興スピーキングテスト ・リーディングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題やテスト等に取り組む姿勢（授業観察、成果物、努力の跡） ・小テスト ・テストの解き直し ・学習したことの振り返り